

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート				作成日	平成29年	6月	6日			
事務事業名	家庭教育学級開設事業				事業類型	活動支援						
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育グループ		記入者氏名	梅原 雅美						
総合計画体系	施策の大綱(施策名) 第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				□ 実施計画対象事業							
	施策名 4 未来を担う青少年の健全育成を図る											
	基本事業名 1 地域で育てる体制の充実											
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	01	事業名	家庭教育学級開設事業	根拠法令		
事業期間	□ 単年度のみ				■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要												
【全体概要】 家庭は、子どもの人格形成に関わるもっとも基本的な教育機能をもつ。そのため、保護者は、子どもの教育に対する責任を自覚し、家庭教育に関する正しい知識と理解を持つことが必要である。保護者自らが家庭のあり方、親としてのあり方について学習し、家庭の教育力の向上を図る。市立						【業務内容】 ・学級開設の指導・合同学習会の企画、開催・運営補助金の交付に伴う事務						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市立保育所、幼稚園、小学校、中学校在学中の保護者						人	4751.	4648.	4548.	4500.	4500.	
							0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・担当者及び学級長説明会 ・学校、幼稚園ごとに学級を設置 ・合同学習会の開催						説明会の開催回数	回	1.	1.	1.	1.	1.
						開設した学級数	学級	21.	20.	20.	20.	20.
						合同学習会の開催回数	回	3.	3.	3.	3.	3.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
家庭での子どもへの教育及び親の在り方について学習することにより、親としての自覚をもち、家庭教育に関する正しい知識を習得してもらい、家庭の教育力の向上につなげる。						学級講座に参加した者の延べ人数	人	5275.	4985.	5200.	5200.	5200.
						講座の開催回数	回	151.	145.	145.	145.	145.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移												
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費				
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業費	財源	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		財源	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		財源	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		事業費計(A)	千円	1,691	1,664	1,801	1,801	1,810	0			
人件費	正規職員	千円	1,970	0.35人	1,435	0.25人	1,435	0.25人	1,435	0.25人		
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人		
	人件費計(B)	千円	1,970	1,435	1,435	1,435	1,435					
	投入量(A)+(B)	千円	3,661	3,099	3,236	3,236	3,245					
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		核家族化が広まり、親の子育てに対する不安をなくす必要が出てきた。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		教育基本法改正により「家庭教育」が新設され、親が家庭教育学級で学んだ知識や考え方を家庭でも行うことで、子供の親に対する見方、考え方、親と子供の接し方など、家庭教育の在り方について改善される方向にある。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		学級生(特に企画担当者)から、事業計画を立てて実施することは大変だが、実施して振り返ると大変有意義であり、よい経験になったとの声を聞く。										

(4)前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 学園ごとに合同での学習会を意欲的に取り組んだ。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 少子化・核家族化により、子育てについての相談者や機会が少なくなっている。そのため市が、保護者に家庭教育の重要性について学ぶ機会を与えることが必要である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市立の保育所・幼稚園・小学校・中学校すべてに学級を開設。個別の学習会と合同学習会を合わせて5回～9回実施。開催方法、学習会内容の充実、参加者増についてさらに努力していく。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。家庭教育の重要性を考えれば、市が継続して実施すべきである。
	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託することで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は、講師謝礼や保険代、最小限の資料消耗品であり削減が出来ない。人件費については、補助事務や開級式・合同学習会準備等とあり、必要最小限となるよう努力している。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市費は、講師謝礼等の全体に係る経費を支出しており、学級生にかかる部分は個人負担としている。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 学園ごとでの学習会の実施や、市内全体で実施する合同学習会の内容充実を図る。		改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下			×																			
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 講座内容の充実を図るためには、保護者のニーズの把握等なども必要である。それが、受講者増につながるものと思われる。		※担当部長が記載																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																							
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																							

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート				作成日	平成29年	6月	6日			
事務事業名	成人式開催事業				事業類型	式典の開催						
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育G		記入者氏名	梅原 雅美						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				■ 実施計画対象事業					
	施策名		4 未来を担う青少年の健全育成を図る									
	基本事業名		2 健全育成の推進									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	01	事業名	成人式開催事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要												
【全体概要】 当該年の成人者及び市関係者が一堂に会し、成人式典を開催し、成人者の門出を祝う。						【業務内容】 当該年及び次年の成人者代表により実行委員会を組織して計画の検討や成人式の運営を行う。市は、実行委員会をサポートしながら、式典において門出を祝う。						
【会場】 ・平成23年度 中央公民館												
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
その年度に二十歳になる新成人						成人者数	人	575.	526.	514.	467.	549.
								0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・実行委員の募集 ・実行委員会の開催 ・式典の開催						実行委員募集通知の発送 件数(次年度成人者も募集)	通	1003.	1000.	980.	1000.	1000.
						実行委員会の開催数	回	8.	8.	8.	8.	8.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
新成人に社会人として自覚を持ってもらい、市民としてまちづくりに参加する意識を高める。						成人式に参加した割合	%	71.1	79.1	80.	80.	80.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移												
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費				
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	内訳	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	2,204	2,103	2,267	2,269	2,269	2,269	0	0	
事業費計(A)		千円	2,204	2,103	2,267	2,269	2,269	2,269	0	0		
人件費	正規職員	千円	1,920	0.45人	1,580	0.35人	1,580	0.35人	1,580	0.35人		
	正規外職員	千円	180	0.10人	162	0.10人	162	0.10人	162	0.10人		
	人件費計(B)	千円	2,100	1,742	1,742	1,742	1,742	1,742				
投入量(A)+(B)		千円	4,304	3,845	4,009	4,011	4,011					
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		国民的な行事であり、成人の健やかな心身の成長と、社会人としての門出を祝福するため。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		那珂市においても少子高齢化が進行している。さらに、進学・就職等により市外へ移住する成人者が多くなっている。将来に向けてまちの活力を維持するためにも、若い世代の定住を促す取り組みが必要となっている。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		一部の市民から、昨今の市の財政状況を憂慮して、貴重な財源を使うことについて、反対の意見が寄せられている。一方で、行政による成人式の開催は当然のことと思われる。										

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)	(予算への反映)							
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; border: 1px dashed black;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 活力あふれる地域をつくるためには、より良い人材を育成することが基本であり、成人式の意義は「子どもから大人になった自覚を持ってもらう」ことであるため、行政の関与は妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 約7割の出席率ではあるが、住民票を市に置いたまま市(県)外に進学や就職している成人者も多く、これ以上の参加は望みにくい。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。新成人は社会全体で祝うべきものであり、社会人としての自覚を促すために継続する必要がある。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は必要最低限と思われる。また人件費の削減については、実行委員会方式をとり成人者自らが事業を行っており、十分削減している。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 式典にかかる経費は定額である。事業の趣旨から個人負担はなじまない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 公平性の改善
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
次年度以降も本事業は同じ内容で継続。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 現状で継続すべきものとする。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	6月	6日																																																																																																																																																																																																			
事務事業名	各種団体補助事業			事業類型	活動支援																																																																																																																																																																																																						
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育G			記入者氏名	梅原 雅美																																																																																																																																																																																																					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり																																																																																																																																																																																																							
	施策名			4 未来を担う青少年の健全育成を図る																																																																																																																																																																																																							
	基本事業名			1 地域で育てる体制の充実																																																																																																																																																																																																							
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	01	事業名	各種団体補助事業	根拠法令																																																																																																																																																																																																	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)																																																																																																																																																																																																			
事業概要																																																																																																																																																																																																											
【全体概要】 社会教育の振興を図るため、各団体の自発的な活動を推進し、活動費を助成する。						【業務内容】 補助金の適正な活用が図れるよう管理し、スムーズな補助事務を行う。																																																																																																																																																																																																					
1 現状把握の部(DOシート)																																																																																																																																																																																																											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移																																																																																																																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>27年度 (実績)</th> <th>28年度 (実績)</th> <th>29年度 (見込)</th> <th>30年度 (計画)</th> <th>31年度 (計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</td> <td colspan="5">④対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">市民</td> <td colspan="5">市の人口</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人</td> <td>55647.</td> <td>55576.</td> <td>55300.</td> <td>55000.</td> <td>54800.</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="5">補助団体数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>団体</td> <td>3.</td> <td>3.</td> <td>3.</td> <td>3.</td> <td>3.</td> </tr> <tr> <td colspan="3">②手段(具体的な事務事業のやり方)</td> <td colspan="5">⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">補助金交付申請の受理、補助金の交付</td> <td colspan="5">申請書受理件数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>件</td> <td>3.</td> <td>3.</td> <td>3.</td> <td>3.</td> <td>3.</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="5">補助金交付額(市文化協会)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>千円</td> <td>3865.</td> <td>3865.</td> <td>3865.</td> <td>3865.</td> <td>3865.</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="5">補助金交付額(市PTA連絡協議会)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>千円</td> <td>610.</td> <td>610.</td> <td>610.</td> <td>610.</td> <td>610.</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="5">補助金交付額(市幼稚園PTA連絡協議会)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>千円</td> <td>40.</td> <td>40.</td> <td>40.</td> <td>40.</td> <td>40.</td> </tr> <tr> <td colspan="3">③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)</td> <td colspan="5">⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">文化協会及び会員の資質の向上による芸術文化の振興と市民の生涯学習の推進</td> <td colspan="5">文化協会加入数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人</td> <td>873.</td> <td>826.</td> <td>900.</td> <td>900.</td> <td>900.</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="5">文化振興事業・講座・文化祭への参加者数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人</td> <td>4194.</td> <td>6242.</td> <td>4300.</td> <td>4300.</td> <td>4300.</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="5">市PTA連絡協議会事業数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業</td> <td>4.</td> <td>4.</td> <td>4.</td> <td>4.</td> <td>4.</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="5">市幼稚園PTA連絡協議会事業数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業</td> <td>2.</td> <td>2.</td> <td>2.</td> <td>2.</td> <td>2.</td> </tr> </tbody> </table>														単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)					市民			市の人口							人	55647.	55576.	55300.	55000.	54800.				補助団体数							団体	3.	3.	3.	3.	3.	②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					補助金交付申請の受理、補助金の交付			申請書受理件数							件	3.	3.	3.	3.	3.				補助金交付額(市文化協会)							千円	3865.	3865.	3865.	3865.	3865.				補助金交付額(市PTA連絡協議会)							千円	610.	610.	610.	610.	610.				補助金交付額(市幼稚園PTA連絡協議会)							千円	40.	40.	40.	40.	40.	③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)					文化協会及び会員の資質の向上による芸術文化の振興と市民の生涯学習の推進			文化協会加入数							人	873.	826.	900.	900.	900.				文化振興事業・講座・文化祭への参加者数							人	4194.	6242.	4300.	4300.	4300.				市PTA連絡協議会事業数							事業	4.	4.	4.	4.	4.				市幼稚園PTA連絡協議会事業数							事業	2.	2.	2.	2.	2.
		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)																																																																																																																																																																																																				
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)																																																																																																																																																																																																								
市民			市の人口																																																																																																																																																																																																								
		人	55647.	55576.	55300.	55000.	54800.																																																																																																																																																																																																				
			補助団体数																																																																																																																																																																																																								
		団体	3.	3.	3.	3.	3.																																																																																																																																																																																																				
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																																																																																																																																																																								
補助金交付申請の受理、補助金の交付			申請書受理件数																																																																																																																																																																																																								
		件	3.	3.	3.	3.	3.																																																																																																																																																																																																				
			補助金交付額(市文化協会)																																																																																																																																																																																																								
		千円	3865.	3865.	3865.	3865.	3865.																																																																																																																																																																																																				
			補助金交付額(市PTA連絡協議会)																																																																																																																																																																																																								
		千円	610.	610.	610.	610.	610.																																																																																																																																																																																																				
			補助金交付額(市幼稚園PTA連絡協議会)																																																																																																																																																																																																								
		千円	40.	40.	40.	40.	40.																																																																																																																																																																																																				
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)																																																																																																																																																																																																								
文化協会及び会員の資質の向上による芸術文化の振興と市民の生涯学習の推進			文化協会加入数																																																																																																																																																																																																								
		人	873.	826.	900.	900.	900.																																																																																																																																																																																																				
			文化振興事業・講座・文化祭への参加者数																																																																																																																																																																																																								
		人	4194.	6242.	4300.	4300.	4300.																																																																																																																																																																																																				
			市PTA連絡協議会事業数																																																																																																																																																																																																								
		事業	4.	4.	4.	4.	4.																																																																																																																																																																																																				
			市幼稚園PTA連絡協議会事業数																																																																																																																																																																																																								
		事業	2.	2.	2.	2.	2.																																																																																																																																																																																																				
(2)投入量の推移																																																																																																																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(見込)</th> <th>30年度(計画)</th> <th>31年度(計画)</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業費</td> <td>財源</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>4,515</td> <td>4,515</td> <td>4,515</td> <td>4,515</td> <td>4,515</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員</td> <td>千円</td> <td>3,670</td> <td>2,090</td> <td>2,090</td> <td>2,090</td> <td>2,090</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規外職員</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>3,670</td> <td>2,090</td> <td>2,090</td> <td>2,090</td> <td>2,090</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>8,185</td> <td>6,605</td> <td>6,605</td> <td>6,605</td> <td>6,605</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費	事業費	財源	千円	0	0	0	0	0	0	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	その他	千円	0	0	0	0	0	0	事業費計(A)	千円	4,515	4,515	4,515	4,515	4,515	0	人件費	正規職員	千円	3,670	2,090	2,090	2,090	2,090		正規外職員	千円	0	0	0	0	0		人件費計(B)	千円	3,670	2,090	2,090	2,090	2,090		投入量(A)+(B)		千円	8,185	6,605	6,605	6,605	6,605																																																																																																					
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費																																																																																																																																																																																																			
事業費	財源	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																			
事業費計(A)	千円	4,515	4,515	4,515	4,515	4,515	0																																																																																																																																																																																																				
人件費	正規職員	千円	3,670	2,090	2,090	2,090	2,090																																																																																																																																																																																																				
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																				
	人件費計(B)	千円	3,670	2,090	2,090	2,090	2,090																																																																																																																																																																																																				
投入量(A)+(B)		千円	8,185	6,605	6,605	6,605	6,605																																																																																																																																																																																																				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等																																																																																																																																																																																																											
①事業を始めたきっかけ																																																																																																																																																																																																											
文化に対する認識と創造性の啓発により文化の振興を図る。																																																																																																																																																																																																											
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)																																																																																																																																																																																																											
文化協会全体で高齢化が進んでいる。																																																																																																																																																																																																											
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)																																																																																																																																																																																																											
なし																																																																																																																																																																																																											

(4)前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 文化協会の加入促進を図ったが、各団体の高齢化により脱退する団体の割合が大きいため、加入数は増えなかった。文化振興事業や文化祭の来場者数は大幅に増えた。

(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
--	--	--

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 文化協会は市民組織であるが、芸術文化の振興に関し統括的に行っていく上では、市が関与することは必要である。
有効性 評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見直しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状とおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 協会内部で協議し、随時必要な事業を見直して実施するなどして展開しているの成果の向上余地がある。
評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。生きがいづくり、生涯学習の推進のためには必要な事業である。
効率性 評価 ④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できますか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 文化振興事業や講座・文化祭などの諸経費について、適切に補助している。また、人件費については各団体への補助、運営の指導など必要最小限の事務を行っている。
公平性 評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 各団体の活動は会費で運営している。文化振興事業などは参加者から入場料を、講座は実費を徴収している。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 文化協会の加入者が減少しているの、事業等の見直し等協会内部で協議していく必要がある。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持	○			低下			○
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持	○																				
	低下			○																		

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 団体補助事業ではあるが、市の今後の文化振興の繁栄を図るためにも、新規加入者の増加策を講じていく必要がある。	

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)
--

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	6月	6日			
事務事業名	青少年育成事業			事業類型	活動支援						
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育G		記入者氏名	梅原 雅美					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				□ 実施計画対象事業			
	施策名			4 未来を担う青少年の健全育成を図る							
	基本事業名			2 健全育成の推進							
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	社会教育法				
		09	05	03	青少年育成事業						
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要											
【全体概要】 子ども会育成連合会等の育成支援。青少年育成関係団体事業の推進 主催事業(青少年の主張大会等)への助成と支援				【業務内容】 年間計画に基づいた活動を実施する。また、県主催等の研修会へも積極的に参加し青少年健全育成活動の充実を図るとともに、団体の事務局として青少年の育成と啓発に努める。							
1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市内在住の青少年			市内の青少年数(0～19歳)		人	9604	9516	9407	9300	9200	
						0	0	0	0	0	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
子ども会事業における表彰、講習会、研修会等の実施。大会や表彰式展の開催による青少年育成事業の推進。高校生会員の募集。			開催事業件数(大会や式典等)		件	7	7	7	7	7	
						0	0	0	0	0	
						0	0	0	0	0	
						0	0	0	0	0	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
青少年の健全育成にかかる団体が連携し、次代を担う青少年の健全育成を図る。			単位子ども会数(子ども会)		団体	72	65	65	65	65	
			不良行為少年補導件数		件	244	200	200	200	200	
			青少年団体会員数		人	1595	1426	1248	1200	1200	
			青少年団体加入率(子ども会)		%	56	52	46	41	41	
(2) 投入量の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費			
事業費	財源	千円	0	0	0	0	0	0			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
事業費計(A)	千円	588	565	783	783	783	0				
人件費	正規職員	千円	3,125	2,600	2,600	2,600	2,600	0.65人			
	正規外職員	千円	390	404	404	404	404	0.25人			
	人件費計(B)	千円	3,515	3,004	3,004	3,004	3,004	0.90人			
投入量(A)+(B)		千円	4,103	3,569	3,787	3,787	3,787	3,787			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			少子化・核家族化などにより子どもを取り巻く環境が悪化し、子どもたちの自主性を育てる活動支援や子ども会の脆弱化に伴い、子ども会会員相互の親睦や情報交換並びに地域リーダーの養成を図ることが急務となった。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			・子どもたちや保護者の多様化により子ども会活動に対する考え方が変わってきている。・市民会議事業については、事業内容が充実し、事業の趣旨に賛同する方たちが増え、高い評価を受けている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			保護者からは、少子化や親の多様化により子ども会離れはあるが、子ども会事業に参加し、よい経験をした等意見も寄せられている。役員の負担は増えるが、多くの人たちが子ども会活動に参加してほしいとの要望がある。								

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) <p>子ども会では、現状の子ども会の問題について臨時役員会を開催し、行事の際には保護者を通して、未加入者加入の呼びかけや青少年関係団体・機関との連携を強化した。</p>	(予算への反映) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし
--	--	---	---

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 次代を担う子どもたちの健全育成に、市が関わり推進することは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 青少年団体への加入が少なくなっており、加入を働きかけているが、厳しい財政や労働状況、保護者の子ども会の役員に対する負担感の軽減を図れば、成果の向上余地がある。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 他に代わる事業がなく、青少年の健全育成の意義を考慮すれば廃止することは難しい。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 子ども会育成会や青少年育成那珂市民会議の会員の労力で事業を行っており、市としては最低限の経費と事務量で実施している。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない。負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 子ども会事業については、参加者から参加費を徴収し、市民会議事業については、ほとんどが啓発事業なので受益者負担を求めるものではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

<p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) →</p> <p style="margin-left: 40px;"> <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 </p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)</p>	<p>改革・改善による期待成果</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
 青少年団体加入促進のため、子ども会では行事の際に保護者を通して、地元未加入者へ加入呼びかけしているが、今後も子ども会加入促進や関係団体・機関との連携強化を図っていく。

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 少子化・子ども会離れについては市だけの問題ではなく全国的な傾向とはなっているが、自治会との連携強化や、地域リーダーの育成、子どもを主体とした活動の見直し等を継続して行いながら、引き続き子ども会への加入促進を推進していきたい。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	6月	6日
事務事業名	ふるさと教室開設事業			事業類型	各種教室の開催			
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育G		記入者氏名	梅原 雅美			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業
	施策名	4 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名	2 健全育成の推進						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令		
		09	05	03	ふるさと教室開設事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)							
事業概要								
【全体概要】 市内小学生4・5・6年生を対象に、異年齢・異学校の子供たちが家庭では味わえない体験を通して、交流や仲間作りを行い社会性を養う。				【業務内容】 様々な体験メニューによる教室を編成し運営する。				
1 現状把握の部(DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移			単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
小学校4～6年生	小学校4～6年生	人	1438.	1427.	1387.	1360.	1330.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
教室の開設	開催した教室の延べ回数	回	15.	14.	13.	13.	13.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
多くの体験を通して、郷土の歴史や自然について学ぶことにより、ふるさとを愛する心を育てる。また、学校や学年の違う友達との交流を通して社会性を養い、もって活力ある青少年を育てる。	教室に参加した延べ人数	人	411.	520.	570.	570.	570.	
	教室に参加した実人数	人	100.	108.	120.	120.	120.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	93	28	28	28	
	事業費計(A)	千円	666	373	1,173	1,173	1,173	
人件費	正規職員	千円	5,035	1,05人	3,330	0.75人	3,330	0.75人
	正規外職員	千円	0	0.00人	646	0.40人	646	0.40人
	人件費計(B)	千円	5,035	3,976	3,976	3,976	3,976	
	投入量(A)+(B)	千円	5,701	4,442	5,177	5,177	5,177	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	子どもたちが日頃できない体験学習の場を提供することにより、社会性に富んだ活力ある健全な青少年の育成が必要となったため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	人間関係の希薄化、家庭や地域社会の教育力の低下、さらには、青少年の健全育成を阻害する有害な情報の氾濫など、その社会環境は大きく変化している一方、子どもが集団をつくって遊ぶ機会や場所が減ってきた。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	毎年申し込む子どもも多く、カリキュラム内容について、新規要望が寄せられている。							

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)	(予算への反映)							
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	市内でできる活動を多く取り入れ、バス代の削減、団体企業に働きかけたプログラムを実施し、事業費の削減を図った。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>91</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <input type="checkbox"/> 反映なし	91	千円	0	千円	0	千円	0
91	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 多くの体験や友達との交流を通して、子どもたちの健全育成を担うことを市が行うのは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 郷土愛をより育むための市内活動も考慮しながら、企業で行っているプログラムをさらに取り入れ、プログラム内容により、定員の偏りが無いようにする必要があり、事業費削減をしても魅力あるプログラムになるようなコース設定を検討する。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 他に代わる事業はなく、今後も子どもたちの健全育成のため必要な事業である。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) プログラム内容や開催場所を検討し事業費の削減に努める。ボランティアを募り、協力してもらうことにより、人件費の削減が可能と思われる。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 講師謝礼及びバス移動を伴う教室のバス賃借料は、市で負担しているが、その他の施設利用料、材料費及び保険代等は、個人負担としている。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
 企業で行っているプログラムをさらに取り入れ、高校生会からのボランティア派遣等で事業費削減に努める。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 プログラムの見直し、ボランティア参加による運営等により、事業内容を改善し経費面での節減を図る。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	6月	6日
事務事業名	各種団体補助事業				事業類型	活動支援	点検日	年
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育G	記入者氏名	梅原 雅美				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業
	施策名	4 未来を担う青少年の健全育成を図る						
	基本事業名	2 健全育成の推進						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令		
		09	05	03	各種団体補助事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 那珂市補助金等交付規則に基づき、青少年那珂市民会議および那珂市子ども会育成連合会に補助金を交付する。				【業務内容】 補助金の適正な活用が図れるよう管理し、スムーズな補助事務を行う。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
「青少年育成那珂市民会議」「那珂市子ども会育成連合会」	補助団体数	団体	2.	2.	2.	2.	2.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
事業補助金の補助申請の受付、補助金の交付	補助金交付額(青少年育成那珂市民会議)	千円	820.	820.	820.	820.	820.
	補助金交付額(市子ども会育成連合会)	千円	250.	250.	250.	250.	250.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
各青少年育成団体の活動を支援し、事業を通じて地域の青少年育成の推進とともに会員相互の連携の輪を広げる。	開催事業数	回	7.	7.	7.	7.	7.
	青少年団体会員数	人	1595.	1426.	1248.	1250.	1250.
	青少年団体加入率(子ども会)	%	56.	52.	46.	46.	46.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070
	事業費計(A)	千円	1,070	1,070	1,070	1,070	1,070
人件費	正規職員	千円	2,955	2,650	2,650	2,650	2,650
	正規外職員	千円	390	404	404	404	404
	人件費計(B)	千円	3,345	3,054	3,054	3,054	3,054
	投入量(A)+(B)	千円	4,415	4,124	4,124	4,124	4,124
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	青少年育成団体が行う事業活動に対して自主性を尊重しつつ助成を行い、本市の青少年育成活動の一層の発展を図るため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	活動内容が定着化してきている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	保護者からは、少子化や親の多様化により子ども会離れはあるが、子ども会事業に参加し、よい経験をした等意見も寄せられている。役員の負担は増えるが、多くの人たちが子ども会活動に参加してほしいとの要望がある。						

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)	(予算への反映)							
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> (人件費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> (人件費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 保護者による子ども会育成会への支援及び青少年の健全育成全般に関わる活動を行う市民会議への支援は、市が関与するべき事項である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 各団体の構成員は、働きながら若しくは何らかの団体に属して活動をしなが、主に土日に子どもたちの健全育成のためのボランティア活動をしてきているため余地がない。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 団体活動は、青少年の健全育成の大きな役割を担っているため、推進しなければならない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 団体活動は、全てボランティアである。青少年健全育成のための事業に必要な経費のみを補助しており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 地域住民全員が幅広く参加しての活動であるため、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
 青少年健全育成のため、今後も継続して行うべき事業である。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 現状どおり継続事業とする。

(3) 外部評価(外部評価委員会)が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	6月	7日			
事務事業名	国民体育大会準備事業			事業類型	事業の推進						
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	国体推進室	記入者氏名	水野 厚子							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	3 生涯にわたリスポーツに親しめる環境を整える									
	基本事業名	2 生涯スポーツ活動の支援									
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	01	事業名	国民体育大会準備事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成28年度～平成32年度)				
事業概要											
【全体概要】 平成31年開催の第74回国民体育大会の成功に向け、おもてなしの心で本市ならではの特性と魅力ある大会の実現に努めるとともに、新たな活力とにぎわいを創出する大会を目指す。 那珂市開催競技：馬術、3B体操						【業務内容】 8月29日実行委員会発起人会開催 10月18日実行委員会設立総会及び第1回総会開催 平成29年1月27日実行委員会第1回常任委員会開催 3月24日、27日に、総務企画、競技式典、輸送交通、宿泊衛生の各専門委員会を開催					
1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)					
那珂市開催競技団体参加関係者、来訪者 市民						競技数	0	2	2	2	2
						人	0	55576	55312	55000	54800
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
実行委員会に補助金を交付し、競技会運営の準備を進めるとともに、各種イベントや広報等で国体をPRし、開催機運を高め、市民参加を促す。						実行委員会等会議開催回数	0	7	10	12	5
						イメージキャラクター出演PR	0	3	15	36	30
							0	0	0	0	0
							0	0	0	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)					
大会の成功と市民総参加で選手等を歓迎する。						ボランティア数	0	0	0	100	700
							0	0	0	0	0
							0	0	0	0	0
							0	0	0	0	0
(2) 投入量の推移											
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費			
事業内 費	財源	千円	0	0	0	0	0	0			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	93,673	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
事業費計(A)		千円	0	2,538	7,609	11,621	75,458	0			
人員 費	正規職員	千円	0	16,400	16,400	16,400	16,400	3,000	16,400	3,000	
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人員費計(B)	千円	0	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400			
投入量(A)+(B)		千円	0	18,938	24,009	28,021	185,531				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		第74回国民体育大会において、馬術競技と3B体操の開催地となった。那珂市をアピールする絶好の機会と捉え、市民総参加で大会の成功を目指すため事業を開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		各種関係機関の代表130名を委員等に迎え、いきいき茨城ゆめ国体那珂市実行委員会を設立した。また第1回常任委員会及び各種専門委員会を開催し基本計画を審議した。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		特になし									

(4) 前回()の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px;">千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px;">千円</td></tr></table> (人件費) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px;">千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px;">千円</td></tr></table> (人件費) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではない、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国民体育大会開催基準要項において、各競技会については会場地市町村も主催団体となっており、那珂市開催の各競技会運営を行わなければならないため。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) PRの方法を多岐にわたらせ、国体を認知してもらい、ボランティア等、市民が参加できる体制の整備を進める必要がある。
妥当性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 日本体育協会理事会において開催決定されている事業であり、市で類似事業はないため廃止・休止はできない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託することで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 県等と相互協力のもと、簡素化を図りながらも創意工夫のある国体を目指している。また、市民・関係団体・行政が連携し、おもてなしの心で本市ならではの特性と魅力ある大会の実現に努めるとともに、新たな活力とにぎわいを創出する大会とするため削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 広く国民の間にスポーツを普及し国民生活を明るく豊かにしようとするものであり、観覧料等を求める事業ではない。 (馬術競技は、本大会に参加する選手団を派遣する都道府県体協は、日体協に負担金を納入する。3B体操と馬術競技のリハ大会の参加料は未定。)

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px;">目的の再設定</td><td style="width: 40px;">有効性の改善</td><td style="width: 40px;">効率性の改善</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px;">公平性の改善</td><td></td><td></td></tr></table>	目的の再設定	有効性の改善	効率性の改善	公平性の改善			<input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)															
目的の再設定	有効性の改善	効率性の改善																				
公平性の改善																						
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) PR方法の検討(市報の活用、HP等の開設、イベントや各課事業等への参加)																						
改革・改善による期待成果																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			X	低下			X
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			X																		
	低下			X																		

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入)
 国体は平成31年度の開催であり、28、29年度は大会組織の立ち上げ・計画策定と大会のPRが急務である。国体の開催機運を市民全体に浸透させるために、今後も積極的な広報活動を展開されたい。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	6月	6日			
事務事業名	公民館施設管理事業			事業類型	施設の運営、維持管理						
担当部課G等	教育委員会 中央公民館	公民館G		記入者氏名	赤津 雄史						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える									
	基本事業名	1 生涯学習環境の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	02	事業名	公民館施設管理事業	根拠法令	社会教育法、那珂市公民館の設置及び管理等に関する条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】						【業務内容】					
公民館施設及び設備の維持管理を行う。						-各種設備等に係る保守点検、清掃、修繕等、施設の維持管理業務。					
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移											
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)				
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
中央公民館施設及び各種設備			施設数	件	1.	1.	1.	1.	1.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
施設維持管理業務、各設保守備点検及び修繕を行った。			点検・検査・修繕の箇所数	件	24.	32.	30.	30.	30.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
中央公民館施設及び各種設備を適切な状態に保ち、市民に利用してもらう。			点検・検査の実施率	%	100.	100.	100.	100.	100.	0.	0.
			苦情件数	件	0.	0.	0.	0.	0.	0.	0.
			利用者数	人	90865.	85940.	90000.	90000.	90000.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	2,080	1,954	2,000	2,000	2,000	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	140	93	108	108	108	0			
	事業費計(A)	千円	17,311	19,854	24,404	21,092	20,272	0			
人件費	正規職員	千円	8,016	122人	5,670	150人	5,670	150人	5,670	150人	
	正規外職員	千円	2,796	1.70人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
	人件費計(B)	千円	10,812	5,670	5,670	5,670	5,670				
投入量(A)+(B)		千円	28,123	25,524	30,074	26,762	25,942				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		市民に生涯学習の場を提供することを目的として、昭和59年に中央公民館が開館した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		施設は経年劣化が進み、老朽化してきている。また、設備等も耐用年数を超えており、修理や修繕が欠かせない状態となっている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		利用者から集会ホールの照明が暗い、冷暖房が集中管理で部屋ごとの温度設定ができないため、「暑すぎる」「寒すぎる」等の意見がある。									

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 長期保全計画を策定した。今後は計画に基づき対応していく。	(予算への反映) <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 削減 (事業費 3,433 千円) <ul style="list-style-type: none"> (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) <ul style="list-style-type: none"> (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし
--	--	--	---

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなぜですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会教育法に基づき市が設置した公共施設である。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見直しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要に応じて修理・修繕し、利用者が安心して使える施設管理をしてきたが、老朽化に対応した計画的な修理・修繕により安定した施設環境と長寿化を図る
③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似の事業はなく、施設を運用している限りは、適切な管理していかなければならない。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要最小限の修理・修繕で対応している。職員も必要最小限で管理している。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなぜですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 規則の減免規定に基づいて減免しているが、受益者負担については公平性の観点から全庁的に見直しを進めている。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 	<input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 向上 <input type="checkbox"/> </td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td> 維持 <input type="checkbox"/> </td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td> 低下 <input type="checkbox"/> </td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上 <input type="checkbox"/>	○	×	×	維持 <input type="checkbox"/>	×	×	×	低下 <input type="checkbox"/>	×	×	×
成果	コスト																			
	削減		維持	増加																
	向上 <input type="checkbox"/>	○	×	×																
維持 <input type="checkbox"/>	×	×	×																	
低下 <input type="checkbox"/>	×	×	×																	

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
 長期保全計画に基づき、適正な修理・修繕を図る。公平性・財源確保の観点から、使用料と減免規定の見直しを全庁的に進めていく。

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 施設の長寿化のため、今後も計画的な修繕を実施していく必要がある。使用料・減免規定についての見直しは全庁的なものであるが、担当部署として事前の検討準備が必要である。
---	---

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート				作成日	平成29年	6月	6日			
事務事業名	学級講座開設事業				事業類型	各種教室の開催						
担当部課G等	教育委員会 中央公民館		公民館G		記入者氏名	赤津 雄史						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				□ 実施計画対象事業					
	施策名		2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える									
	基本事業名		2 生涯学習活動の支援									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	02	事業名	学級講座開設事業	根拠法令	社会教育法 那珂市公民館規則	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要												
【全体概要】						【業務内容】						
当事業では、生涯学習のきっかけづくりとしての初心者向け各種教室の開催と、教室生(卒業生の団体等も含む)の発表の場としての公民館まつりを開催している。なお、公民館まつり中には、短期教室や映画会の開催もあわせて行っている。年度末に、学級の記録誌を発行している。						・学級講座の開設 ・公民館まつりの開催 ・映画会の開催 ・学習の成果記録としての記録誌「ふれあい文集」発行						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移												
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民(人口)及び市内在勤者						対象者数	人	60000	60000	60000	60000	60000
								0	0	0	0	
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
受講生募集案内の各戸配布及びお知らせ版、那珂市ホームページを活用し、受講生募集を行い、講座や公民館まつり、映画会を開催した。年度末に「ふれあい」文集を発行した。						講座数	講座	14	15	20	20	20
						全講座の開催回数	回	150	155	187	180	180
						公民館まつり体験教室数	教室	17	18	18	18	18
						映画会開催数	回	1	1	1	1	1
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
生涯学習へ取り組む意欲を向上させる。						受講完了者(7割以上出席者)の割合	%	83.3	86.4	90	90	90
						定員を超えた講座数	講座	6	5	10	10	10
						受講者数	人	662	691	700	700	700
						映画会来場者数	人	113	147	200	200	200
(2)投入量の推移												
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費				
事業費	財源	千円	0	0	0	0	0	0				
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	881	948	1,155	1,155	1,155	0				
事業費計(A)	千円	775	1,022	1,123	1,123	1,123	0					
人員費	千円	5,100	2,805	2,805	2,805	2,805	0					
正規職員	千円	5,100	2,805	2,805	2,805	2,805	0					
正規外職員	千円	3,783	0	0	0	0	0					
人員費計(B)	千円	8,883	2,805	2,805	2,805	2,805	0					
投入量(A)+(B)		千円	10,539	4,775	5,083	5,083	0					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		公民館が行う事業として、社会教育法に掲げられた講座を開設した。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		近年、民間による趣味、知識や技術習得のための事業が多く行われるようになり、市民の選択肢が増えてきている。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		講座数の増や開催日等の調整。また、カリキュラム内容によっては、募集定員の増という要望の声も寄せられている。										

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 市民ニーズに応える講座ができるよう、受講生からアンケートを実施し調査研究に努めている。
		(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民に生涯学習の場を提供し、絆作りと活力あるコミュニティの形成を図る。 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない より多くの市民が受講できる企画立案。自主講座への移行の支援。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない 社会教育法に基づく公民館事業として講座を開設している。生涯学習のきっかけづくりとして実施している。 <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
効率性評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない 必要最小限の事業費と人件費で行っている。 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である 講師料はほぼ受講料で賄っている。教材費等は別途受講生の負担であり、託児代も一部負担してもらっているの、公平かつ公正である。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 公平性の改善

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
 市民ニーズに応える講座企画ができるよう、他市町村の状況を把握も含めて、調査・研究に努める。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 生涯学習の拠点として、市民のきっかけづくりとなる公民館講座の充実に今後も努めたい。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	6月	2日																																																																																																																													
事務事業名	スポーツ教室開設事業				事業類型	各種教室の開催																																																																																																																															
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	小池 裕樹																																																																																																																																	
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業																																																																																																																													
	施策名	3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える																																																																																																																																			
	基本事業名	2 生涯スポーツ活動の支援																																																																																																																																			
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	01	事業名	スポーツ教室開設事業	根拠法令	スポーツ基本法																																																																																																																										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)																																																																																																																													
事業概要																																																																																																																																					
【全体概要】 各種スポーツ教室の開催を通じて、子供から高齢者まで年齢性別を問わずスポーツに親しむ機会を提供し、楽しみながらスポーツを行うことで市民の健康増進に貢献する。						【業務内容】 スポーツ教室の企画、参加者募集、受付、教室開講事務、講師及び教室運営団体との契約等事務																																																																																																																															
1 現状把握の部(DOシート)																																																																																																																																					
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移																																																																																																																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(見込)</th> <th>30年度(計画)</th> <th>31年度(計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</td> <td colspan="6">④対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市民</td> <td>人口</td> <td>人</td> <td>55647.</td> <td>55576.</td> <td>55312.</td> <td>55000.</td> <td>54800.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②手段(具体的な事務事業のやり方)</td> <td colspan="6">⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">スケート教室・各種水泳教室・ヨガ教室・エアロビクス教室・ピラティス教室・ジュニアテニス教室を実施</td> <td>延べ開催数</td> <td>回</td> <td>992.</td> <td>973.</td> <td>993.</td> <td>993.</td> <td>993.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>教室数</td> <td>教室</td> <td>33.</td> <td>33.</td> <td>33.</td> <td>33.</td> <td>33.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)</td> <td colspan="6">⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市民に対し、スポーツをするきっかけの場、スポーツをする場としてスポーツ教室を提供しスポーツに対する意識の高揚を図ることにより、健康増進に貢献する。</td> <td>延べ参加者数</td> <td>人</td> <td>18982.</td> <td>23112.</td> <td>28260.</td> <td>28260.</td> <td>28260.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> </tbody> </table>														単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)						市民		人口	人	55647.	55576.	55312.	55000.	54800.					0.	0.	0.	0.	0.	②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						スケート教室・各種水泳教室・ヨガ教室・エアロビクス教室・ピラティス教室・ジュニアテニス教室を実施		延べ開催数	回	992.	973.	993.	993.	993.			教室数	教室	33.	33.	33.	33.	33.					0.	0.	0.	0.	0.					0.	0.	0.	0.	0.	③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						市民に対し、スポーツをするきっかけの場、スポーツをする場としてスポーツ教室を提供しスポーツに対する意識の高揚を図ることにより、健康増進に貢献する。		延べ参加者数	人	18982.	23112.	28260.	28260.	28260.					0.	0.	0.	0.	0.					0.	0.	0.	0.	0.					0.	0.	0.	0.	0.
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)																																																																																																																														
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)																																																																																																																																			
市民		人口	人	55647.	55576.	55312.	55000.	54800.																																																																																																																													
				0.	0.	0.	0.	0.																																																																																																																													
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																																																																																																			
スケート教室・各種水泳教室・ヨガ教室・エアロビクス教室・ピラティス教室・ジュニアテニス教室を実施		延べ開催数	回	992.	973.	993.	993.	993.																																																																																																																													
		教室数	教室	33.	33.	33.	33.	33.																																																																																																																													
				0.	0.	0.	0.	0.																																																																																																																													
				0.	0.	0.	0.	0.																																																																																																																													
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)																																																																																																																																			
市民に対し、スポーツをするきっかけの場、スポーツをする場としてスポーツ教室を提供しスポーツに対する意識の高揚を図ることにより、健康増進に貢献する。		延べ参加者数	人	18982.	23112.	28260.	28260.	28260.																																																																																																																													
				0.	0.	0.	0.	0.																																																																																																																													
				0.	0.	0.	0.	0.																																																																																																																													
				0.	0.	0.	0.	0.																																																																																																																													
(2) 投入量の推移																																																																																																																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(見込)</th> <th>30年度(計画)</th> <th>31年度(計画)</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>11,870</td> <td>0</td> <td>15,318</td> <td>15,318</td> <td>15,318</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>4,908</td> <td>16,409</td> <td>1,801</td> <td>2,266</td> <td>2,266</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>16,778</td> <td>16,409</td> <td>17,119</td> <td>17,584</td> <td>17,584</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員</td> <td>千円</td> <td>1,759</td> <td>0.33人</td> <td>1,512</td> <td>0.33人</td> <td>1,512</td> <td>0.33人</td> </tr> <tr> <td>正規外職員</td> <td>千円</td> <td>1,387</td> <td>0.85人</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>3,146</td> <td>1,512</td> <td>1,512</td> <td>1,512</td> <td>1,512</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>19,924</td> <td>17,921</td> <td>18,631</td> <td>19,096</td> <td>19,096</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	その他	千円	11,870	0	15,318	15,318	15,318	0	一般財源	千円	4,908	16,409	1,801	2,266	2,266	0	事業費計(A)		千円	16,778	16,409	17,119	17,584	17,584	0	人件費	正規職員	千円	1,759	0.33人	1,512	0.33人	1,512	0.33人	正規外職員	千円	1,387	0.85人	0	0.00人	0	0.00人	人件費計(B)	千円	3,146	1,512	1,512	1,512	1,512		投入量(A)+(B)		千円	19,924	17,921	18,631	19,096	19,096																														
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費																																																																																																																													
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																													
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																													
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																													
	その他	千円	11,870	0	15,318	15,318	15,318	0																																																																																																																													
	一般財源	千円	4,908	16,409	1,801	2,266	2,266	0																																																																																																																													
事業費計(A)		千円	16,778	16,409	17,119	17,584	17,584	0																																																																																																																													
人件費	正規職員	千円	1,759	0.33人	1,512	0.33人	1,512	0.33人																																																																																																																													
	正規外職員	千円	1,387	0.85人	0	0.00人	0	0.00人																																																																																																																													
	人件費計(B)	千円	3,146	1,512	1,512	1,512	1,512																																																																																																																														
投入量(A)+(B)		千円	19,924	17,921	18,631	19,096	19,096																																																																																																																														
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等																																																																																																																																					
①事業を始めたきっかけ																																																																																																																																					
スポーツ基本法に基づき、市民の健康増進を図ることを目的としてスポーツの普及発展を行う。																																																																																																																																					
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)																																																																																																																																					
少子化及びテレビゲーム等の普及により、外で遊ぶ・スポーツをするという子供が減少してきている。その一方でニュースポーツ等のスポーツの多様化が進んでいる。高齢者は、健康志向としての参加が増加している。																																																																																																																																					
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)																																																																																																																																					
継続して参加する方が多く教室のマンネリ化が指摘されている。その一方で、水泳教室の一部では、定員を超える申込者があり抽選になってしまう教室もあり、定員や教室数を増やしてほしいという意見もある。																																																																																																																																					

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 (前回評価結果を踏まえた見直し内容) <p>教室参加者へのアンケートを取るなど、教室内容への改善点等を把握した。</p> <p>それを踏まえて教室内容などを改善していた。</p>	(予算への反映) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table style="display: inline-table; border: 1px dashed black; width: 50px; text-align: center;">0</table> 千円) (人件費 <table style="display: inline-table; border: 1px dashed black; width: 50px; text-align: center;">0</table> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table style="display: inline-table; border: 1px dashed black; width: 50px; text-align: center;">0</table> 千円) (人件費 <table style="display: inline-table; border: 1px dashed black; width: 50px; text-align: center;">0</table> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見直しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状とおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？
効 率 性 評 価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？
公 平 性 評 価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？
	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <table style="display: inline-table; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <tr> <td style="padding: 5px;"><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td> <td style="padding: 5px;"><input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善</td> <td style="padding: 5px;"><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;"><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)</p> <p>改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 引き続きアンケート等を行い、状況を把握したうえで教室内容の改善を図っていく。</p>	<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善			※担当課長、グループ長、担当者が記載															
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																				
<input type="checkbox"/> 公平性の改善																						
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成 果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向上		○		維持				低下				(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 市民ニーズに応えるような教室の充実に今後も努める。
			コスト																			
		削減	維持	増加																		
成 果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート				作成日	平成29年	6月	2日			
事務事業名	学校体育施設夜間開放事業				事業類型	施設の運営・維持管理						
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	小池 裕樹							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり							■ 実施計画対象事業			
	施策名	3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える										
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実										
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	01	事業名	学校体育施設夜間開放事業	根拠法令	スポーツ基本法	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 地域住民の身近なスポーツをする体育施設の拠点として、小中学校の体育施設を地域のスポーツ団体への夜間開放を実施する。						【業務内容】 小中学校・利用団体との調整・施設等の管理。						
体育館 小学校11校・中学校5校・武道場5校 1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民						人口	人	55647.	55576.	55312.	55000.	54800.
								0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
市内小中学校の体育館・武道場の開放						学校体育施設の開放校	学校	16.	16.	16.	16.	16.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
地域の学校体育施設を夜間開放することにより、スポーツを通して地域住民の相互の親睦を図りながら体力作り、生涯スポーツを推進する。						利用団体数	団体	98.	101.	101.	101.	101.
						利用者数	人	1621.	1722.	1722.	1722.	1722.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移												
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費				
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業費	財源	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		財源	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		財源	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		事業費計(A)	千円	811	846	950	951	951	951	0		
人件費	正	正規職員	千円	1,428	0.27人	1,254	0.27人	1,254	0.27人	1,254	0.27人	
	正	正規外職員	千円	330	0.20人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
	人件費計(B)	千円	1,758	1,254	1,254	1,254	1,254	1,254				
投入量(A)+(B)		千円	2,569	2,100	2,204	2,205	2,205					
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		昭和40年代の屋内運動場建設に伴い、地域住民のスポーツ・社会体育に対する関心や要求の高まりによるため。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		夜間開放により学校体育施設を利用する団体が増加し、体育館の開放が飽和状態になりつつある。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		利用団体からは、毎月の利用申請の改善・簡素化等の要望がある一方、学校側からは、利用団体のマナーの悪さが指摘されている。										

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート				作成日	平成29年	6月	2日		
					点検日						
事務事業名	団体補助事業				事業類型	補助金					
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		スポーツ推進室体育G		記入者氏名	小池 裕樹					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				■ 実施計画対象事業				
	施策名		3 生涯にわたるスポーツに親しめる環境を整える								
	基本事業名		2 生涯スポーツ活動の支援								
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	スポーツ基本法				
		09	06	01	団体補助事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】					【業務内容】						
市民の体力向上による健康増進を目的に、市内8地区のまちづくり委員会・加盟団体・専門部と連携して、各種大会及び関連事業を開催している市体育協会に財政的な支援を行う。					各種大会、教室の受付・進行等の業務及び体育協会事務局の事務						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
那珂市体育協会加盟団体			加盟団体数(協会・連盟)		団体	19.	19.	18.	18.	18.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
市体育協会に補助金を交付する。 市体育協会事務を補助する。			補助金額		千円	6792.	7118.	7118.	7118.	7118.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
市民へ「誰でも・いつでも・どこでも」スポーツができる環境づくりをしてもらう。また、市民が暮らしのなかにスポーツを取り入れ、健康で楽しさにあふれた生活をおくることができる。			連盟登録人数		人	2528.	2488.	2387.	2387.	2387.	
			少年団登録人数		人	679.	612.	600.	600.	600.	
			大会等の開催回数(本部主催のみ)		回	19.	19.	19.	19.	19.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費			
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	事業費	財源	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	6,792	7,118	7,118	7,118	7,118	7,118	0	
	事業費計(A)	千円	6,792	7,118	7,118	7,118	7,118	7,118	0		
人件費	正	正規職員	千円	11,615	2,05人	10,342	2,05人	10,342	2,05人	10,342	2,05人
	正	正規外職員	千円	1,375	0.75人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人
	人	件費計(B)	千円	12,990	10,342	10,342	10,342	10,342	10,342		
		投入量(A)+(B)	千円	19,782	17,460	17,460	17,460	17,460	17,460		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			東京オリンピックを機会に体育協会設立の気運が高まり、体育協会の設立により、市民の健康増進が図られ、スポーツの振興とスポーツ団体の育成、各種競技団体の普及発展を目指して開始した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			合併によりさらに団体数、大会数が増大したことで、スポーツ団体の増加に伴い大会事業も増加している。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			施設利用料の減免措置、補助金の増額、新規大会の開催等の要望が寄せられている。								

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)																
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	自主財源確保のため、登録費の徴収を開始した。自主運営への課題は引き続き検討していく。																
		(予算への反映)																
		<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 50px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 50px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 50px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 50px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的・妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 体育協会は、スポーツ振興の中心となって活動する団体であり、市民自らによるスポーツの推進のため、行政が支援することは必要である。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 大会・イベント等の開催にあたり、体育協会事務局や加盟団体が連携し、魅力ある事業を広く開催して行えば、加盟団体数・加盟人数を増やすことができ、成果の向上が見込める。
評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がない。また、体育協会は市民の健康増進・スポーツ振興のために数多くの事業を展開しており、廃止すればスポーツの推進を阻害するとともに、市民の運動する機会が減り、健康増進へとつながらない。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託することで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は大会等の運営費となり、事業費削減を行えば参加費等の負担増となる。それによって体育活動の意欲をそぎ、スポーツ推進・健康増進のマイナス要因となる。人件費の減少は、体育協会の自主運営化を進めることにより可能になる可能性がある。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 歩く会、スキー・スノーボード教室等の事業で、参加費を徴収して実施しているため公平であると考えられる。

3 計画の部(PPLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 今後も団体との協力体制を築きながら、市民スポーツの振興に努め、市民が積極的に参加する事業を展開する。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート				作成日	平成29年	6月	9日		
事務事業名	体育施設管理事業				事業類型	施設の維持管理					
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	諸藤 慎一						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				■ 実施計画対象事業				
	施策名		3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える								
	基本事業名		1 スポーツ環境の充実								
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	体育施設設置管理条例				
		09	06	03	体育施設管理事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要											
【全体概要】 瓜連体育館、ふれあいの杜公園(多目的広場・芝生広場・テニスコート)、神崎テニスコート、神崎グラウンド、中谷原公園(テニスコート)、戸多グラウンドの維持管理事業					【業務内容】 那珂総合公園以外の市内体育施設について維持管理する。(ふれセンごだいの芝の管理も含む)						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
建物、グラウンド、機械				建物	棟	4.	4.	4.	4.	4.	
				グラウンド、機械	箇所、台	6.	6.	6.	6.	6.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
施設の維持管理(保守、点検、修繕、整備)、緑化管理(除草等)				除草作業	回	3.	2.	2.	2.	2.	
				保守点検	回	3.	3.	3.	3.	3.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
維持管理、緑化管理を適切に行うことで施設環境を整備することにより、市民が安全で快適にスポーツを楽しむことが出来る。				不具合発生	件	6.	9.	9.	9.	9.	
				修繕	件	6.	9.	9.	9.	9.	
				利用者	人	49412.	51842.	52000.	52000.	52000.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移											
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費			
事業費	財源	千円	0	0	0	0	0	0			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他の	千円	1,632	1,826	1,410	1,206	1,206	0			
事業費計(A)	千円	8,056	11,480	19,335	9,726	9,726	0				
人員	千円	1,120	1,140	1,140	1,140	1,140	0				
正規職員	千円	0	0	0	0	0	0				
正規外職員	千円	1,120	1,140	1,140	1,140	1,140	0				
人員費計(B)	千円	1,120	1,140	1,140	1,140	1,140	0				
投入量(A)+(B)	千円	10,808	14,446	21,885	12,072	12,072	0				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		市民の健康づくりとスポーツの推進を目的に、スポーツ施設として那珂総合公園以外の市内体育施設が建設されたことから、施設の維持管理が始まった。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加傾向にある。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		施設の老朽化に伴い、施設の修繕や更新の意見要望がある。									

(4)前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 施設の老朽化に伴う修繕については、適宜不具合箇所の実態を把握して適切に実施し、利用者者の安全性の向上と快適な施設環境の整備を図った。また、使用料と減免規定の見直しについては、公平な受益者負担と財源確保の観点から、全庁統一の改定時期に合わせて見直しを進めていく。								
		(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; text-align: center;">0</td><td style="width: 50px; text-align: right;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: right;">0</td></tr></table> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; text-align: center;">0</td><td style="width: 50px; text-align: right;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">(人件費)</td><td style="text-align: right;">0</td></tr></table> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	(人件費)	0	0	千円	(人件費)	0
0	千円									
(人件費)	0									
0	千円									
(人件費)	0									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はありますか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民がスポーツに親しみ健康に暮らせるように、市が主体となって維持管理事業を行うことは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見直しに沿った成果となっているか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設が老朽化してきているため、適切な修繕や対策を行うことで、事故を未然に防ぎ、より多くの市民に利用してもらえるような快適な施設環境の整備を図ることが出来る。特に瓜連体育館については、耐震補強工事の必要性がある。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) この事業は、那珂総合公園以外の市内体育施設の維持管理を行うもので、統廃合の余地はない。また、管理運営上の安全確保とスポーツにおける住民ニーズに応えるためにも、廃止・休止は出来ない。
効率的 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設の安全性を維持する上で最低限の範囲で修繕や対策を実施しており、これ以上の事業費削減は難しい。また、人件費については、必要最低限の臨時職員やシルバー人材センターを活用して事業を実施しているため、これ以上の削減は出来ない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなぜですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 公共施設の維持管理は公平な受益者負担が原則であり、市の財源確保の観点からも、使用料と減免規定の見直しについては、全庁統一の改定時期に合わせて見直しを進める必要がある。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 施設の老朽化が進んできていることから、不具合箇所の実態を適宜把握し、不良箇所の修繕を適切に実施することで、安全性の向上とより多くの市民に利用してもらえるような快適な施設環境の整備を図る。特に瓜連体育館については、耐震補強工事に向け準備を進める。 また、使用料と減免規定の見直しについては、公平な受益者負担と財源確保の観点から、全庁統一の改定時期に合わせて見直しを進めていく。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持	×	×	×	低下	×	×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持	×	×	×																		
	低下	×	×	×																		

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	※担当部長が記載
改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 施設修繕に関しては緊急的な修繕を除き、予算の平準化を図るため計画的な修繕を実施し、安全性の維持・向上に努める。	

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	
--	--

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	
---	--

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート				作成日	平成29年	6月	9日			
事務事業名	総合公園管理事業				事業類型	施設の維持管理						
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		体育グループ		記入者氏名	諸藤 慎一						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり				■ 実施計画対象事業					
	施策名		3 生涯にわたリスポーツに親しめる環境を整える									
	基本事業名		1 スポーツ環境の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	04	事業名	総合公園管理事業	根拠法令	都市公園条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要												
【全体概要】						【業務内容】						
那珂総合公園の維持管理事業						那珂総合公園について維持管理する。						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
建物、グラウンド						建物	棟	1.	1.	1.	1.	1.
						グラウンド	箇所	2.	2.	2.	2.	2.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設の維持管理(保守、点検、修繕、整備)、緑化管理(除草等)						保守点検	本	20.	19.	19.	20.	19.
						緑化管理	本	5.	5.	5.	5.	5.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
維持管理、緑化管理を適切に行うことで施設環境を整備することにより、市民が安全で快適にスポーツを楽しむことが出来る。						故障	件	28.	31.	31.	31.	31.
						修繕	件	28.	31.	31.	31.	31.
						利用者	人	181346.	181280.	182000.	182000.	182000.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移												
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費				
事業費	財源	千円	0	0	0	0	0	0				
	国庫支出金	千円	10,000	9,768	10,500	9,900	9,900	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	20,403	12,410	10,300	9,760	9,760	0				
	その他	千円	121,117	126,731	135,432	147,785	169,559	0				
事業費計(A)	千円	151,520	148,909	156,232	167,445	189,219	0					
人件費	正規職員	千円	6,660	5,580	6,720	5,580	6,720	1.60人				
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人				
	人件費計(B)	千円	6,660	5,580	6,720	5,580	6,720					
投入量(A)+(B)		千円	158,180	154,489	162,952	173,025	195,939					
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			市民の健康づくりとスポーツの推進を目的に、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として那珂総合公園が建設されたことから、施設の維持管理が始まった。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加傾向にある。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			施設の老朽化に伴い、施設の修繕や更新の意見要望がある。									

(4)前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)								
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	施設の老朽化に伴う不具合箇所の実態を適宜把握して適切な修繕を実施し、利用者の安全性の向上と快適な施設環境の整備を図った。また、セキュリティ対策として、利用者駐車場に監視カメラを設置した。指定管理者制度の導入については、引き続き検討していく。								
	(予算への反映)									
	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1"> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr> </table> (人件費 <table border="1"> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr>) </table>	0	千円	0	千円	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1"> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr>) (人件費 <table border="1"> <tr><td>0</td><td>千円</td></tr>) </table></table>	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									
	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民がスポーツに親しみ健康に暮らせるように、市が主体となって維持管理事業を行うことは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見直しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設が老朽化してきているため、適切な修繕や対策を行うことで、事故を未然に防ぎ、より多くの市民に利用してもらえるような快適な施設環境の整備を図ることが出来る。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 那珂総合公園は本市のスポーツ推進施設の拠点であり、他に代わる施設もないことから統廃合の余地はない。 また、市民の健康づくりやスポーツの推進、スポーツにおける住民ニーズに応えるためにも、廃止・休止は出来ない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 指定管理者制度の導入により、事業費や人件費の削減余地がある。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 公共施設の維持管理は公平な受益者負担が原則であり、市の財源確保の観点からも、使用料と減免規定の見直しについては、全庁統一の改定時期に合わせて見直しを進める必要がある。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 施設の老朽化が進んできていることから、不具合箇所の実態を適宜把握し、不良個所の修繕を適切に実施することで、安全性の向上とより多くの市民に利用してもらえるような快適な施設環境の整備を図る。また、指定管理者制度の導入については、引き続き導入に向けた検討を進めていく。使用料と減免規定の見直しについては、公平な受益者負担と財源確保の観点から、全庁統一の改定時期に合わせて見直しを進める。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 施設の改修・修繕については、予算の平準化を図るために今後も計画的に行っていく必要がある。指定管理者制度の導入と使用料及び減免規定の見直しについても引き続き要検討。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	6月	9日
事務事業名	総合公園運営事業			事業類型	施設の運営			
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	諸藤 慎一			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業
	施策名	3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える						
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	都市公園条例	
		09	06	04	総合公園運営事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 那珂総合公園の運営事業					【業務内容】 那珂総合公園の運営 (施設の予約、受付、使用料徴収、貸出等)			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
施設の利用者、市民	那珂市の人口	人	55647.	55576.	55312.	55000.	54800.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
施設の利用者(個人・団体)に対し、予約、受付、使用料徴収、貸出等を行う。	電話・窓口による予約率	%	79.7	78.4	78.	77.5	77.	
	パソコン等による予約率	%	20.3	21.6	22.	22.5	23.	
	施設稼働率	%	83.1	82.5	83.	83.	83.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市民が安全で快適にスポーツを楽しむことにより、生きがいをもち健康に暮らせるようになる。	施設利用者	人	181346.	181280.	182000.	182000.	182000.	
	うちプール利用者	人	42065.	41760.	42000.	42000.	42000.	
	日頃からスポーツに取り組んでいる人の割合	%	47.	45.4	47.	47.	47.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	4,800	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	9,617	11,880	18,490	7,740	7,740	0
人件費	正規職員	千円	1,120	1,140	1,140	1,140	1,140	0.20人
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人
	人件費計(B)	千円	1,120	1,140	1,140	1,140	1,140	
	投入量(A)+(B)	千円	10,737	17,820	19,630	8,880	8,880	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	市民の健康づくりとスポーツの推進を目的に、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として那珂総合公園が建設されたことから、施設の運営が始まった。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	近隣市町村に同様の施設が建設されている中、安定した利用者数で推移している。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	施設の老朽化に伴い、修繕や更新の意見要望がある。							

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み												
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 施設の修繕については、不具合箇所の実態を適宜把握して適切に実施し、利用者の安全性の向上と快適な施設環境の整備を図った。備品の整備については、移動式バスケットゴールを1対購入した(H29にも1対購入)。指定管理者制度の導入、使用料と減免規定の見直しについては、引き続き検討を進めていく。										
		(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">11,049</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	11,049	千円	0	千円
0	千円											
0	千円											
0	千円											
11,049	千円											
0	千円											

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民がスポーツに親しみ健康に暮らせるように、市が主体となって運営事業を行うことは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設の老朽化と共に貸出備品等も老朽化してきていることから、備品の修繕や更新を行うことで、より多くの市民に利用してもらえるような快適な施設環境の整備を図ることが出来る。
	③ 類似事業との統廃合余地 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 那珂総合公園は本市のスポーツ推進の拠点施設であり、他に代わる施設もないことから、統廃合の余地はない。 また、市民の健康づくりやスポーツの推進、スポーツにおける住民ニーズに応えるためにも、廃止・休止は出来ない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 指定管理者制度の導入により、事業費や人件費の削減余地がある。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 公共施設の運営は公平な受益者負担が原則であり、市の財源確保の観点からも、使用料と減免規定の見直しについては、全庁統一の改定時期に合わせて見直しを進める必要がある。

3 計画の部(PPLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 施設の老朽化に伴い貸出備品も老朽化してきていることから、備品の修繕や更新を行うことで、より多くの市民に利用してもらえるような施設環境の整備を図る。特に、移動式バスケットゴールについては、H29も更新(1対購入)を行う。 また、指定管理者制度の導入については、引き続き導入に向けた検討を進めていく。使用料と減免規定の見直しについては、公平な受益者負担と財源確保の観点から、全庁統一の改定時期に合わせて見直しを進める。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 備品等についても、施設を利用者に安全に使用してもらうために、今後も計画的に修繕・更新等を行っていく必要がある。使用料等の改訂についても引き続き検討を進めていく。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート				作成日	平成29年	6月	9日								
事務事業名	体育施設整備事業				事業類型	施設の整備改修											
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	坂本 博之												
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり							□ 実施計画対象事業								
	施策名	3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整える															
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実															
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	03	事業名	体育施設整備事業	根拠法令							
事業期間	□ 単年度のみ				□ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				■ 期間限定複数年度 (平成28年度～平成28年度)								
事業概要																	
【全体概要】 瓜連体育館、ふれあいの杜公園(多目的広場・芝生広場・テニスコート)、神崎テニスコート、神崎グラウンド、中谷原公園(テニスコート)、戸多グラウンドの整備事業						【業務内容】 那珂総合公園以外の市内体育施設について、改修・整備を行う。平成28年度 / 旧戸多小学校体育館(屋内運動場)について、老朽化に伴う必要な破損箇所等の更新を実施するものである。平成30年度 / 瓜連体育館について、耐震診断調査の結果に基づく補強と一般改修を実施するものである。											
1 現状把握の部(DOシート)																	
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移																	
						単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)						
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)											
那珂総合公園以外の市内体育施設						管理している体育施設数	箇所	8	8	8	8	8					
								0	0	0	0	0					
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)											
旧戸多小学校体育館 / 体育施設としてまだ移管はされていないが、学校体育施設夜間開放事業として使用するため、老朽化・経年劣化による危険箇所を修復することで安全に使用出来る施設とする。 瓜連体育館 / 管理運営する体育施設の一つとして、老朽化・経年劣化による危険箇所を修復することで安全に使用できる施設とする。						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)											
						修繕整備を行う施設							0	1	0	1	0
						H28 旧戸多小学校体育館						箇所	0	1	0	0	0
						H30 瓜連体育館						箇所	0	0	0	1	0
								0	0	0	0	0					
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)											
修繕と整備を行うことで、安全に使用できる施設とする。						修繕整備の完了した施設											
							0	1	0	1	0						
						H28 旧戸多小学校体育館	箇所	0	1	0	0	0					
						H30 瓜連体育館	箇所	0	0	0	1	0					
								0	0	0	0	0					
(2) 投入量の推移																	
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費									
事業費	財源	千円	0	0	0	0	0	0									
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0									
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0									
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0									
	その他	千円	0	0	0	0	0	0									
	事業費計(A)	千円	0	19,386	0	126,000	0	0									
人件費	正規職員	千円	0	0.00人	1,140	0.20人	0	0.00人	1,140	0.20人	0	0.00人					
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人					
	人件費計(B)	千円	0	1,140	0	1,140	0	0									
	投入量(A)+(B)	千円	0	20,526	0	127,140	0	0									
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等																	
①事業を始めたきっかけ			旧戸多小学校体育館 / 廃校後みなして夜間開放事業を行うにあたり、地区からの要望もあって必要な雨漏り等の補修を行ったものである。 瓜連体育館 / 耐震診断調査の結果に基づく補強と一般改修を行うものである。														
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			旧戸多小学校体育館及び瓜連体育館共に、施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加傾向にある。														
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			旧戸多小学校体育館 / 戸多地区住民から、地区の集会の場として、引き続き体育館を利用したいとの要望がある。 瓜連体育館 / 市内団体を中心に、利用者の運動の場として貴重な施設となっている。														

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート				作成日	平成29年	6月	1日		
事務事業名	歴史民俗資料館管理事業				事業類型	施設の維持管理					
担当部課G等	教育委員会	歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	木内 忠						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画対象事業			
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護保存									
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例				
		09	05	04	歴史民俗資料館管理事業						
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】					【業務内容】						
・歴史民俗資料館施設機能の維持管理・文化財及び市に 関する歴史資料を収集・保管及び展示し、郷土の歴史 と文化に対する市民の教養と理解深め、もって市民の教 育、学術及び文化の振興を図る。・文化財等資産を様々な 角度から体系的に紹介する。					・施設管理・市内文化財等の資料の整備・保存を図り、様々な角度 から体系的に展示及び公開をする。						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
歴史民俗資料館設備、資料				文化財資料数	点	1330.	1330.	1330.	1330.	1330.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
歴史民俗資料館施設の維持管理及び文化財資料・ 民俗資料の保存管理を適切に行なう。				燻蒸回数	回	1.	1.	1.	1.	1.	
				空調保守点検回数	回	1.	1.	1.	1.	1.	
				消防設備保守点検回数	回	1.	1.	1.	1.	1.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
開館予定日数を休まず開館する。破棄する資料をだ さない。				開館日数	日	302.	302.	302.	302.	302.	
				破棄資料数	点	0.	0.	0.	0.	0.	
				施設に対する苦情件数	件	1.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費			
事業 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	1,359	1,383	1,519	2,380	2,380	0			
人件 費	正規職員	千円	2,861	2,861	2,861	2,861	2,861	0.56人			
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人			
	人件費計(B)	千円	2,861	2,861	2,861	2,861	2,861	0.56人			
投入量(A)+(B)		千円	4,220	4,244	4,380	5,241	5,241				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		文化財及び市に関する歴史資料を収集、保管及び展示し、その活用を図り、郷土の歴史と文化 に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、平成6 年から開館した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根 拠法令等はどう変化していますか? 開 始時期と比べてどう変わりましたか?)		開館以来入館者は増加しており、今後も入館者の増加に繋がられるように適切に施設と資料を 維持・保存管理していく。									
③関係者からの意見要望(この事務事 業に対して関係者(市民、議会、事業対 象者、利害関係者等)からどんな意見や 要望が寄せられていますか?)		常設展示の変化が足りない。もっと充実して欲しい。常設展以外に季節展や特別展の充実にも努 めてほしい。									

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 文化財及び歴史資料を収集・保存・展示し、その活用を図り、市民に郷土歴史と文化の理解・認識をしてもらうための施設、設備などの管理は市が行うのが妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	■ 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 継続して適正な管理に努めており、成果にも表れている。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 他に類似した事業はない。文化財の保護、調査及び出土品の適正な保存・管理等は行政の務めである。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 歴史民俗資料館管理・運営のほか、文化財保護、市史編さん、特別企画展、開発による埋蔵文化財調査等の事業を最低限の人数で対応しているためこれ以上の削減はできない。管理業務などの委託費も現状でそれほど高額ではないため、複数年契約としても、それほどのコスト削減に繋がらない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 受益者負担を求める事業ではない 事業の趣旨、事業の規模から、個人負担にはなじまない。郷土の歴史や文化の振興を図るためのもので、受益者に負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 管理等点検・委託費は、単年度契約もあるが、金額的に複数年契約としても、それほどのコスト削減は見込めない。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 今後もコスト意識に努めながら、施設の維持管理を行っていく。																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																					
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																					

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート				作成日	平成29年	6月	1日		
事務事業名	歴史民俗資料館運営事業				事業類型	施設の運営					
担当部課G等	教育委員会	歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	木内 忠						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)				第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						
	施策名				5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る						
	基本事業名				1 歴史資産の保護保存						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例				
		09	05	04	歴史民俗資料館運営事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】					【業務内容】						
・歴史民俗資料館施設機能の運営・文化財を展示し、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図る。・文化財等資産を様々な角度から体系的に紹介する。					・施設管理・市内文化財等の資料の整備・保存を図り、様々な角度から体系的に展示及び公開をする。						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
全市民				市民	人	55647.	55576.	55312.	55000.	54800.	
				文化財史資料	点	1340.	1350.	1360.	1370.	1380.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
市内文化財資料史の収集・展示公開 展示室機器等の修繕				開館日数	日	302.	302.	302.	302.	302.	
				常設展の資料点数	件	170.	170.	170.	170.	170.	
				年間資料収集数	件	30.	30.	30.	30.	30.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市民に市の歴史、文化資産を知ってもらう。				入館者数	人	16310.	16105.	16500.	17000.	17500.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費			
事業費	財源	千円	0	0	0	0	0	0			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
事業費計(A)	千円	8,288	8,676	8,907	9,232	9,232	0				
人件費	正規職員	千円	3,514	3,514	3,514	3,514	3,514	0.68人			
	正規外職員	千円	840	0	0	0	0	0.50人			
	人件費計(B)	千円	4,354	3,514	3,514	3,514	3,514	0.68人			
投入量(A)+(B)		千円	12,642	12,190	12,421	12,746	12,746				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		文化財及び市に関する歴史資料を収集、保管及び展示し、その活用を図り、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、平成6年から開館した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		開館以来入館者は増加しており、今後も入館者の増加に繋がられるように資料を収集・管理していく。施設の経年に伴い、施設設備等の修繕増加が見込まれる。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		常設展示の変化が足りない。もっと充実して欲しい。展示における市民参加の必要性等の声がある。資料館までの標識、案内板等の設置及び公共交通機関の整備の要望がある。									

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 展示については、ホームページ等を活用し、情報発信に努めた。案内板の改修及び計画的な施設の修繕を検討する。								
		(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"><tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> 千円)</tr><tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> 千円)</tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"><tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> 千円)</tr><tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> 千円)</tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"><tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> 千円)</tr><tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> 千円)</tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"><tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> 千円)</tr><tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> 千円)</tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	0	0	0	0	0	0	0
0										
0										
0										
0										
0										
0										
0										
0										

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 貴重な歴史遺産と伝統文化を継承し活用するために、文化財及び歴史資料を収集・保存・展示し、その活用を図り、市民に郷土歴史と文化の理解・認識をしていただくことは、市の重要な役割である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 継続して適正な運営に努めており、成果にも表れている。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。開発行為に伴う文化財の保護、埋蔵文化財の調査及び出土品の適正な保存等は行政の務めである。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 歴史民俗資料館管理・運営のほか、文化財保護、市史編さん、特別企画展、開発による埋蔵文化財調査等の事業を最低限の人数で対応しているためこれ以上の削減はできない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 歴史遺産や伝統文化は、市のものであり市民のものであるため、特定の受益者はいない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 同規模の近隣市町村の歴史民俗資料館と比べると、来館者は極めて多い。現在、現状維持であるが、これから施設の経年に伴い設備等の修繕増加が見込まれる。																							
改革・改善による期待成果																								
<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td colspan="3">コスト</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr> <tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下				
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 今後も来館者のニーズに応えるべく資料の充実を努めるとともに、展示機器等の修繕・改修については計画的に対応する必要がある。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	5月	31日			
事務事業名	特別展開催事業				事業類型	イベントの開催	点検日	年	月	日	
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	中嶋 圭子							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名	2 伝統文化の活用と伝承									
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例				
		09	05	04	特別展開催事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】					【業務内容】						
・歴史民俗資料館多目的ホールにおいて、特別企画展、収蔵品展等を開催する。・来館者数の増大を図り、先人が残した文化遺産に対する見聞を広め、文化財保護の意識を高める。					・テーマに沿った資料展示を行う。・展示期間中に展示講演会、または展示解説会を開催する。・歴史講演会を開催する。						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・市民			那珂市の人口			人	55647.	55576.	55300.	55000.	54800.
							0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
・写真パネル展「東日本大震災の記憶」 ・特別企画展「戦国大名佐竹氏の軌跡」 ・季節展「端午の節句展」・「正月飾り展」・「雛人形展」			企画展等催し物開催回数			回	5.	5.	5.	5.	5.
			講演会実施回数			回	7.	7.	7.	7.	7.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
・市民が文化財に接する機会を増やすことにより、文化財に対する関心や興味を高め、文化財保護意識の高揚を図る。			入館者数			人	16310.	16105.	16500.	17000.	17000.
			歴史資産・伝統文化を大切に だと思っている人の割合			%	94.43	92.9	93.	93.5	94.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費			
事業費	財源	千円	0	0	0	0	0	0			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
事業費計(A)	千円	733	728	857	862	862	862	0			
人件費	正規職員	千円	3,955	5,700	5,700	5,700	5,700	0.88人	0.88人	0.88人	0.88人
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	人件費計(B)	千円	3,955	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	
投入量(A)+(B)		千円	4,688	6,428	6,557	6,562	6,562	6,562			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		資料館施設及び収蔵資料を有効活用し、市民の歴史文化への関心を高めることを目的として開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		・特別企画展が広く市民に浸透し、年間入館者数が15,000人を超えている。・年に2度以上来館するリピーターや、次回開催企画展案内の希望者が増えている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		・来館者アンケートにより、継続的に企画展開催を希望する意見が多く寄せられている。・市中心部より離れているため、交通の便の悪さや公園内の案内看板の不備を指摘する声が多く寄せられている。									

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

<p>前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？</p>	<p>(前回最終評価) 前回は最終評価を踏まえた見直し内容</p> <p>民間団体との共催という形で企画展を開催し、新たな分野を市民に向け発表することができた。</p>	<p>(予算への反映)</p> <p><input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円</p> <p><input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p>
---	--	---

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

<p>目的妥当性評価</p> <p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p>■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>市民の歴史文化への関心を高めることは、市の文化レベルの向上につながる。文化の香り高いまちづくりを提唱する那珂市にとって、企画展を開催し、積極的に歴史文化を周知し、次世代へ継承していく義務がある。また、文化財は、市の大切な財産であり、公共の立場で、それを守り伝えていくことが妥当であると考えられる。</p>
<p>有効性評価</p> <p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見直しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>企画展テーマや展示資料の内容を見直し、入館者を増加させる可能性があるが、展示施設の改善(空調設備・備え付け展示ケース等)の改善が必須である。</p>
<p>評価</p> <p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>	<p>■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>歴史資料を扱うという特異な性質上、類似事業は考えられない。また、歴史や伝統文化啓蒙促進のため、企画展が小中学校の授業に取り入れられる場合もあり、学習支援活動も兼ねており、欠かすことのできない事業である。</p>
<p>効率性評価</p> <p>④ 事業費や人件費の削除余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p>■ 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>■ 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>事業費は、これまでも最低限の予算で展示を行ってきた。これ以上の予算削減は、企画展の存続が困難となる。人件費に関しては、職員が最低人数であたっている。また、展示には経験と知識が必要とされるため、アウトソーシングでは事業遂行は困難である。</p>
<p>公平性評価</p> <p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>■ 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>館の設備不足(空調設備の不足や備え付けケースの不備)のため、展示できる資料に限りがあり、そのような状況下での展示では入館料を徴収するレベルの展示には達していないため。</p>

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) →
 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善
 公平性の改善
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

年々、来館者数は増加傾向にはあるが、企画展テーマ、展示資料の充実を図ることである程度入館者数増加を見込むことはできる。しかし、これ以上の展示内容及び大幅な来場者の増加を望むには、展示設備の改善が必須である。

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			×
	低下			×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)

入館者増のための展示設備の大規模な改善は難しいが、陳列ケース等必要な備品については、年次的に計画して整備を進めていく必要がある。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	6月	1日				
事務事業名	文化財保護対策事業				事業類型	調査	点検日					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	木内 忠								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画対象事業				
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る										
	基本事業名	1 歴史資産の保護保存										
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	05	事業名	文化財保護対策事業	根拠法令	那珂市文化財保護条例	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)					□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】						【業務内容】						
・国民共有の財産である文化財に対して、重要性の啓発、保護意識の高揚及び愛護思想の普及啓発を図るとともに文化財の指定等について協議推進する。 ・文化財保護審議会は文化財の保存活用について、調査審査し教育委員会に建議する。						・文化財保護審議会開催・資料等の整理・復元・保存及び調査研究・照会等による埋蔵文化財の保護指導・試掘調査・埋蔵文化財の発掘調査・記録						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
文化財、民俗資料 市民						保護すべき文化財、資料数	点	1330.	1340.	1350.	1360.	1370.
						那珂市の人口	人	55647.	55576.	55312.	55000.	54800.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
文化財保護審議会開催 文化財資料等の調査研究						文化財保護審査会の開催 日数	回	1.	1.	2.	2.	2.
						発掘・試掘調査件数	件	5.	6.	6.	6.	6.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
文化財としての資料を発掘するとともに、保護保存を図り次世代へ継承する。						文化財指定数	件	84.	84.	85.	86.	87.
						指定文化財を知っている人の割合	%	61.5	66.3	67.	68.	69.
						歴史資産・伝統文化を大切に だと思っている人の割合	%	94.43	92.9	93.	93.5	94.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移												
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費				
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	内訳	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	839	618	3,654	4,161	4,161	0	0	0	
事業費計(A)		千円	839	618	3,654	4,161	4,161	4,161	0	0		
人件費	正規職員	千円	1,920	0.40人	1,920	0.40人	1,920	0.40人	1,920	0.40人		
	正規外職員	千円	860	0.80人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人		
	人件費計(B)	千円	2,780	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920				
投入量(A)+(B)		千円	3,619	2,538	5,574	6,081	6,081					
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		市文化財保護条例に基づき、市内に存在する文化的価値が高い文化財について、保存・活用に関する重要事項を計画的に調査審議し保存するため。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		事業の推進により、指定文化財数の増加や史跡をはじめ文化財の保護活用についての関心が高まっている。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		身近にある文化財への関心が高まった。埋蔵文化財の保護について、理解を深めるようにPRが必要ではないか。文化財保護行政にもっとも力を入れるべきではないか。										

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) <p>包蔵地に対する開発関係の情報の把握に努めた。</p> (予算への反映) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px;">千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px;">千円</td></tr></table> (人件費) <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px;">千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 40px;">千円</td></tr></table> (人件費) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし 	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的・妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市内の貴重な埋蔵文化財の保護は、公共が行う義務的業務である。先人の残した文化遺産は国家国民の貴重な財産であり、これを保護することは行政の責務でもある。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	■ 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 他課が把握した開発情報を共有することにより、開発情報を入手することができている。県文化課指導による「埋蔵文化財専門員」を平成24年度から配置したことにより、埋蔵文化財の迅速・的確な保護活用が図られている。
有効性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。休止・廃止は、貴重な財産である文化遺産・文化財を喪失する恐れがあるとともに、指定文化財の維持管理に支障をきたす。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 文化財の保護及び普及啓発費用であるため削減できない。文化財の内容にもよるが、保護には特殊技術を要することから、多くの経費を必要とする。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 受益者負担を求める事業ではない 文化遺産・文化財は、市のものであり市民のものであるため、特定の受益者はいない。

3 計画の部(PPLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 継続して関係各課の開発情報等を常に把握し、文化財の適正な維持保存に努める。予算段階では、個人住宅等の発掘調査の委託費を計上しているため予算額は増額になっている。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 今後も条例に基づき、文化財の保護・維持管理に努めていく。	※担当部長が記載																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	6月	1日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
事務事業名	額田城跡整備事業			事業類型	維持管理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	木内 忠																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり					■ 実施計画対象事業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	基本事業名	1 歴史資産の保護保存																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	05	事業名	額田城跡整備事業	根拠法令	那珂市文化財保護条例																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
事業概要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
【全体概要】 額田城跡指定範囲(文化財)を後世に伝えるための整備、管理及び保存をすることにより地域の活性化に活用していくために、年次計画に基づき地域の管理組合に委託する。額田城跡の現状維持、保存に努める。						【業務内容】 額田城跡整備・管理委託 ①遊歩道・進入路整備、看板整備等 ②草払・倒木処理・間財等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
1 現状把握の部(DOシート)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(見込)</th> <th>30年度(計画)</th> <th>31年度(計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</td> <td colspan="5">④対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">額田城跡、市民、市外来訪者</td> <td>市民</td> <td>人</td> <td>55647.</td> <td>55576.</td> <td>55312.</td> <td>55000.</td> <td>54800.</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>額田城跡計画面積</td> <td>ha</td> <td>7.7</td> <td>7.7</td> <td>7.7</td> <td>7.7</td> <td>7.7</td> </tr> <tr> <td colspan="3">②手段(具体的な事務事業のやり方)</td> <td colspan="5">⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">額田城跡整備工事 額田城跡保存会に関する管理委託 草払・倒木処理・間伐等</td> <td>保存会の年間整備活動日数</td> <td>回</td> <td>40.</td> <td>40.</td> <td>40.</td> <td>40.</td> <td>40.</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>整備工事発注件数</td> <td>件</td> <td>1.</td> <td>1.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="3">③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)</td> <td colspan="5">⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">額田城跡を保存管理し次世代へ継承する。文化財が広く市民に親しまれ、歴史と文化の理解の促進を図る。</td> <td>整備活動人数</td> <td>人</td> <td>1050.</td> <td>1050.</td> <td>1050.</td> <td>1050.</td> <td>1050.</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>歴史遺産・伝統文化を大切に だと思っている人の割合</td> <td>%</td> <td>94.43</td> <td>92.9</td> <td>93.</td> <td>93.5</td> <td>94.</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="12">(2)投入量の推移</td> </tr> <tr> <td colspan="12"> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(見込)</th> <th>30年度(計画)</th> <th>31年度(計画)</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>14,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>2,049</td> <td>10,601</td> <td>16,424</td> <td>17,324</td> <td>16,424</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員</td> <td>千円</td> <td>1,140</td> <td>0.16人</td> <td>1,140</td> <td>0.16人</td> <td>1,140</td> <td>0.16人</td> </tr> <tr> <td>正規外職員</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>1,140</td> <td>1,140</td> <td>1,140</td> <td>1,140</td> <td>1,140</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>3,189</td> <td>11,741</td> <td>17,564</td> <td>18,464</td> <td>17,564</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="12">(3)事務事業の環境変化・市民意見等</td> </tr> <tr> <td colspan="12">①事業を始めたきっかけ</td> </tr> <tr> <td colspan="12">額田城跡の早期の整備や保存を求める市民からの要望があり、平成10年に額田城跡を市文化財に指定した。その後、地元市民が中心になり額田城跡保存会を設立し活動を開始した。</td> </tr> <tr> <td colspan="12">②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)</td> </tr> <tr> <td colspan="12">額田城跡保存会の会員や地権者が高齢となり、今後の活動について若い世代に継承することが望まれている。</td> </tr> <tr> <td colspan="12">③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)</td> </tr> <tr> <td colspan="12">自然を利用した公園や城郭を整備し、「市民の憩いの場」としてほしい意見が寄せられている。</td> </tr> </tbody> </table>														単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)					額田城跡、市民、市外来訪者			市民	人	55647.	55576.	55312.	55000.	54800.				額田城跡計画面積	ha	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					額田城跡整備工事 額田城跡保存会に関する管理委託 草払・倒木処理・間伐等			保存会の年間整備活動日数	回	40.	40.	40.	40.	40.				整備工事発注件数	件	1.	1.	0.	0.	0.						0.	0.	0.	0.						0.	0.	0.	0.	③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)					額田城跡を保存管理し次世代へ継承する。文化財が広く市民に親しまれ、歴史と文化の理解の促進を図る。			整備活動人数	人	1050.	1050.	1050.	1050.	1050.				歴史遺産・伝統文化を大切に だと思っている人の割合	%	94.43	92.9	93.	93.5	94.						0.	0.	0.	0.						0.	0.	0.	0.	(2)投入量の推移												<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(見込)</th> <th>30年度(計画)</th> <th>31年度(計画)</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>14,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>2,049</td> <td>10,601</td> <td>16,424</td> <td>17,324</td> <td>16,424</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員</td> <td>千円</td> <td>1,140</td> <td>0.16人</td> <td>1,140</td> <td>0.16人</td> <td>1,140</td> <td>0.16人</td> </tr> <tr> <td>正規外職員</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>1,140</td> <td>1,140</td> <td>1,140</td> <td>1,140</td> <td>1,140</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>3,189</td> <td>11,741</td> <td>17,564</td> <td>18,464</td> <td>17,564</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	その他	千円	0	0	14,000	0	0	0	事業費計(A)	千円	2,049	10,601	16,424	17,324	16,424	0	人件費	正規職員	千円	1,140	0.16人	1,140	0.16人	1,140	0.16人	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	人件費計(B)	千円	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140		投入量(A)+(B)		千円	3,189	11,741	17,564	18,464	17,564		(3)事務事業の環境変化・市民意見等												①事業を始めたきっかけ												額田城跡の早期の整備や保存を求める市民からの要望があり、平成10年に額田城跡を市文化財に指定した。その後、地元市民が中心になり額田城跡保存会を設立し活動を開始した。												②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)												額田城跡保存会の会員や地権者が高齢となり、今後の活動について若い世代に継承することが望まれている。												③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)												自然を利用した公園や城郭を整備し、「市民の憩いの場」としてほしい意見が寄せられている。											
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
額田城跡、市民、市外来訪者			市民	人	55647.	55576.	55312.	55000.	54800.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			額田城跡計画面積	ha	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
額田城跡整備工事 額田城跡保存会に関する管理委託 草払・倒木処理・間伐等			保存会の年間整備活動日数	回	40.	40.	40.	40.	40.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			整備工事発注件数	件	1.	1.	0.	0.	0.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					0.	0.	0.	0.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
					0.	0.	0.	0.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
額田城跡を保存管理し次世代へ継承する。文化財が広く市民に親しまれ、歴史と文化の理解の促進を図る。			整備活動人数	人	1050.	1050.	1050.	1050.	1050.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			歴史遺産・伝統文化を大切に だと思っている人の割合	%	94.43	92.9	93.	93.5	94.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					0.	0.	0.	0.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
					0.	0.	0.	0.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
(2)投入量の推移																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(見込)</th> <th>30年度(計画)</th> <th>31年度(計画)</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>14,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>2,049</td> <td>10,601</td> <td>16,424</td> <td>17,324</td> <td>16,424</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員</td> <td>千円</td> <td>1,140</td> <td>0.16人</td> <td>1,140</td> <td>0.16人</td> <td>1,140</td> <td>0.16人</td> </tr> <tr> <td>正規外職員</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>1,140</td> <td>1,140</td> <td>1,140</td> <td>1,140</td> <td>1,140</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>3,189</td> <td>11,741</td> <td>17,564</td> <td>18,464</td> <td>17,564</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	その他	千円	0	0	14,000	0	0	0	事業費計(A)	千円	2,049	10,601	16,424	17,324	16,424	0	人件費	正規職員	千円	1,140	0.16人	1,140	0.16人	1,140	0.16人	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	人件費計(B)	千円	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140		投入量(A)+(B)		千円	3,189	11,741	17,564	18,464	17,564																																																																																																																																																																																																																																													
		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	その他	千円	0	0	14,000	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	事業費計(A)	千円	2,049	10,601	16,424	17,324	16,424	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
人件費	正規職員	千円	1,140	0.16人	1,140	0.16人	1,140	0.16人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	人件費計(B)	千円	1,140	1,140	1,140	1,140	1,140																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
投入量(A)+(B)		千円	3,189	11,741	17,564	18,464	17,564																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
①事業を始めたきっかけ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
額田城跡の早期の整備や保存を求める市民からの要望があり、平成10年に額田城跡を市文化財に指定した。その後、地元市民が中心になり額田城跡保存会を設立し活動を開始した。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
額田城跡保存会の会員や地権者が高齢となり、今後の活動について若い世代に継承することが望まれている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
自然を利用した公園や城郭を整備し、「市民の憩いの場」としてほしい意見が寄せられている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み												
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 地元の保存会や地域と市が協働により保存管理を実施。また、歴史的・観光資源として活用できるように整備を進めることを検討を進めた。駐車場の整備を実施。										
		(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> 千円) (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>8,552</td><td>千円</td></tr></table> 千円) (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	8,552	千円	0	千円
0	千円											
0	千円											
0	千円											
8,552	千円											
0	千円											

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 貴重な文化遺産である額田城跡の整備・維持管理は公共性が高い。また、史跡面積が7.7haあることから市民団体だけでは負担が重過ぎるため、市の支援が必要である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？ <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 額田城跡を歴史的・自然公園として保存・整備することにより、歴史的資産や文化財に親しむことは、重要であるとする市民を増やすことができる。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。貴重な文化財保護のため、また、保存のため尽力している地域住民のためにも廃止すべきではない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費及び人件費も最低限で実施しているため削減の余地がない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ <input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 指定区域内の土地は、地権者の協力により一部無償借地している。また、維持作業も多くのボランティアで成り立っている。そのような現状から、来訪者から負担金をとるような城跡ではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 保存管理計画(第2期)を作成し整備を進める。 整備実施により、事業費は増加の見込み。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持			×																				
	低下			×																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 第2期額田城保存管理(平成29年度～平成33年度)に基づき、今後は計画的に整備を進めていく。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	6月	1日			
事務事業名	市史編さん事務費				事業類型	事業の推進	点検日	年	月	日	
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	木内 忠							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画対象事業			
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護保存									
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市市史編さん委員会及び専門委員設置規則				
		09	05	06	市史編さん事務費						
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返			□ 期間限定複数年度					
			(開始年度 年度～)			(年度～ 年度)					
事業概要											
【全体概要】				【業務内容】							
戦後70年が経過し歴史的にも風化・散逸していく資料について、収集・調査をすることになり、本市の発展過程を歴史的に明らかにし、市民の郷土愛を高揚する。また、市の将来の発展に資することを目的に、那珂市史編さん委員会及び専門委員会を置く。				貴重な遺跡等の文化財や、先人たちを広く市民に公開する。「発掘調査で甦る古代的那珂市」を刊行した。							
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・全市民・市外訪問者(観光客)・郷土史研究者等・長い歴史の中で生まれ、伝えられた史・資料			那珂市の人口		人	55647.	55576.	55312.	55000.	54800.	
			考古及び史・資料		点	5300.	5300.	5300.	5300.	5300.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
市史編さん委員会を開催し、考古資料の解説や調査をしていく。			市史編さん委員会開催回数		回	6.	3.	5.	5.	6.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
市民に歴史的事実を明らかにし、歴史的記録を後世に記録し残す。			調査・解説できた考古・史・資料数		点	3450.	3450.	3500.	3500.	3500.	
			市史等頒布数		冊	238.	166.	200.	210.	220.	
			歴史資産伝統文化を大切にしている人の割合		%	94.43	92.9	93.	93.5	94.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	200	52	52	0			
	事業費計(A)	千円	861	981	1,270	1,468	1,468	0			
人件費	正規職員	千円	528	528	528	528	528	0			
	正規外職員	千円	989	0	0	0	0	0			
	人件費計(B)	千円	1,517	528	528	528	528	0			
投入量(A)+(B)		千円	2,378	1,509	1,798	2,048	2,048				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		那珂市内に存在する歴史的・文化的遺産を発掘し、先人の業績を学び発展に寄与するとともに、それらを後世に伝承するため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		多くの市民の理解を得て、文化財保存への関心が高まっている。また、編さん事業の成果に基づいた生涯学習講座等においても希望者は増加している。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		・あまり目立たないが、時間のかかる貴重な事業であるため、粘り強く取り組んで欲しい。・事業の内容をさらによりわかるようにPRして欲しい。・那珂市の歴史をもっと簡単にまとめたものも欲しい。									

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	6月	1日			
事務事業名	城館跡調査事業				事業類型	調査	点検日	年	月	日	
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	木内 忠							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	5 貴重な歴史資産と伝統文化を継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護保存									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	05	事業名	城館跡調査事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成26年度～平成30年度)				
事業概要											
【全体概要】 那珂市城館跡調査事業を行い、地域の活性化と文化財を後世に継承する。						【業務内容】 茨城大学に委託し、那珂市城館跡調査事業を行う。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市内の城館跡数	市内の城館跡数	件	48.	48.	48.	48.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
市内の城館跡を踏査し、記録に残す。	調査した件数	件	7.	10.	10.	9.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
開発等で破壊される前に城館跡を調査・記録する。	記録として保存した数	件	7.	10.	10.	9.	0.
	調査保存が完了した割合	%	40.	60.	81.	100.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費
事業費	財源	千円	0	0	0	0	0
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
事業費計(A)	千円	756	756	772	772	0	0
人件費	正規職員	千円	618	520	520	520	0
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0
	人件費計(B)	千円	618	520	520	520	0
投入量(A)+(B)	千円	1,374	1,276	1,292	1,292	0	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	これまで開発されずに平地林となっていることから城館跡が保存されてきました。しかし、近年は開発がその地域にまで及びつつあるので、現況を調査する。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	住宅地と開発が進行する前にこれら城館の縄張り図を作成して往時の姿および一端を残していくこととした。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	貴重な歴史遺産を開発される前に調査・記録すべきとの声がある。						

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	6月	2日
事務事業名	図書館管理事業				事業類型	施設の維持管理	点検日	年
担当部課G等	教育委員会 図書館	図書館管理G	記入者氏名	磯野 剛志				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						□ 実施計画対象事業
	施策名	2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える						
	基本事業名	1 生涯学習環境の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	図書館法	
		09	05	07	図書館管理事業			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 平成18年度～)			□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 生涯学習の拠点として、また情報の集積・発信基地としての図書館を市民が快適に利用できるように維持管理する。					【業務内容】 主な業務は施設の維持管理委託。 事業費は光熱水費、各種設備保守点検や修繕費、施設管理委託費等に支出。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
図書館	施設の延床面積	m ²	3609.69	3609.69	3609.69	3609.69	3609.69
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設の維持管理	施設の修繕件数	件	12.	11.	14.	15.	16.
	施設管理の委託件数	件	4.	4.	4.	4.	4.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
図書館利用者が安全で快適に図書館の施設を利用できるように環境の整備をする。	施設に関する苦情件数	件	4.	4.	4.	4.	4.
	来館者数	人	309001.	270221.	300000.	300000.	300000.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	10,830	11,711	12,500	12,500	12,500
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他の	千円	392	405	719	412	412
	一般財源	千円	11,771	12,294	12,166	14,101	14,101
	事業費計(A)	千円	22,993	24,410	25,385	27,013	27,013
人件費	正規職員	千円	7,960	8,050	8,050	8,050	8,050
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0
	人件費計(B)	千円	7,960	8,050	8,050	8,050	8,050
	投入量(A)+(B)	千円	30,953	32,460	33,435	35,063	35,063
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	市民からの強い要望と生涯学習の場として整備する必要があることから、平成18年那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例により図書館を設置。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?	今年で開館10周年を迎え、耐用年数による設備等の交換やオーバーホールなどがあり、修繕箇所は増加傾向にある。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	図書館利用者から、安全で快適な施設の維持管理が求められている。						

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み						
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)				
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	総合施設管理業務委託(債務負担行為)の更新時期ではないことから、予算への反映はなし				
		(予算への反映)				
		<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費)	0	千円	0	千円
0	千円					
0	千円					
		<input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費)	0	千円	0	千円
0	千円					
0	千円					
		<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし				

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の施設であり、利用者の快適な空間を維持するため、市の管理が妥当である
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見直しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 図書館施設・設備は、一括して業者委託しており、修繕が必要なものは随時対応している。また、耐用年数による部品交換、修繕等については計画的に実施し、常に良好な状態となるよう管理している。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく統廃合の余地はない。また、地域の課題解決の場、生涯学習の拠点となる施設であるため、廃止・休止の可能性もない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 総合施設管理業務委託の更新時、業務の質を下げずに委託料の削減が可能か検討する。事業費の削減は見込めないが、平成30年度までに指定管理者制度の導入についての方向性を協議・検討する。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 図書館法17条に基づき、受益者負担を求めることはできない

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 節電による光熱水費を抑えるとともに、図書館管理委託更新時は質を下げずに委託料の削減を図り、施設管理が最良の状態を維持する。 有識者や利用者等から構成される那珂市図書館協議会において、指定管理者制度導入の方向性等について意見を聴取する。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持																					
改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 開館後10年を超える施設となるので、経費面を考慮しながら今後も定期的なメンテナンスを実施し、施設の長寿命化に努める。指定管理者制度の導入については、関係機関の意見聴取を行うなど、今後も引き続き検討を続ける。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成28年度	事務事業評価シート			作成日	平成29年	6月	2日
事務事業名	図書館運営事業				事業類型	施設の運営	点検日	年
担当部課G等	教育委員会 図書館	図書館管理G	記入者氏名	磯野 剛志				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり						■ 実施計画対象事業
	施策名	2 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える						
	基本事業名	1 生涯学習環境の充実						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	図書館法	
		09	05	07	図書館運営事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成18年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 生涯学習の拠点として、また、情報の集積・発信基地として、より多くの市民が利用できるように図書館を運営する。				【業務内容】 主な業務は、図書館資料の選定購入、図書館まつり等の企画、図書館システムの保守など。 事業費は、報酬、賃金、システム賃借料、資料の購入費等へ支出。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民	人口	人	55647.	55576.	55312.	55000.	54800.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
図書館システムの維持管理、図書館資料の選定・購入等を行う。	開館日数	日	283.	288.	288.	288.	288.	
	購入資料数	点	7648.	8741.	8500.	9000.	9500.	
	図書館資料数	点	181554.	191028.	200000.	210000.	220000.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
多くの市民に自学自習の場を提供することにより、生涯学習への意識向上を図る。	登録者数	人	33623.	35125.	36500.	38000.	39500.	
	貸出資料数	点	471537.	470088.	511000.	532000.	553000.	
	一人当たりの貸出資料数	点	14.02	13.38	13.5	14.	14.5	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	30年度(計画)	31年度(計画)	総事業費	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	26,335	22,237	21,500	21,500	21,500	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	3	9,655	31	33	33	
	一般財源	千円	43,540	38,936	50,374	51,054	51,057	
	事業費計(A)	千円	69,878	70,828	71,905	72,587	72,590	
人件費	正規職員	千円	12,340	1,90人	14,540	2,20人	14,540	2,20人
	正規外職員	千円	18,036	10,80人	0	0,00人	0	0,00人
	人件費計(B)	千円	30,376	14,540	14,540	14,540	14,540	
投入量(A)+(B)	千円	100,254	85,368	86,445	87,127	87,130		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	那珂市立図書館の開館に伴う事業							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	平成18年10月に開館、所蔵資料も増加し市民の生涯学習の拠点としてなくてはならない施設である							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料や行政資料等の充実を望む声がある(図書館利用者) ・新規の利用者を増加させる取り組みの要望が寄せられている(図書館協議会委員) 							

(4) 前回(平成27年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 図書資料の充実を引き続き進めるとともに、図書館まつり開催期間の延長や開館10周年を記念して著名人の講演を実施した。また、ボランティアによる落語会や夏休みおはなし会等のイベント実施で、利用者の拡大を図った。	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text" value="300"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではないですか？ ●市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民の自主的な学習活動の場として設けられた施設であり、市民の要求に応じられる資料の充実・確保を図るとともに、公共性を重視した良質な情報提供を行う上で妥当である
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 図書館資料(書籍、CD、DVD)所蔵数を増やしていくとともに、魅力あるイベント等を実施し、新規利用者を呼び込むことが求められている。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく統廃合の余地はない。また、地域の課題解決の場、生涯学習の拠点となる施設であるため、廃止・休止の可能性もない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 図書館システム貸借の更新時、質を下げずに賃借料の削減が可能か検討する。事業費の削減は見込めないが、平成30年度までに指定管理者制度の導入についての方向性を協議・検討する。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 図書館法第17条に基づき、図書館の利用において受益者負担を求めることはできない。例外として、相互貸借及び団体貸出しに係る郵送料が発生した場合には、受益者負担の適正化の観点から郵送料について受益者負担とした。(那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則を改正:平成29年4月1日施行)

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 図書館システムの委託更新時に委託料について見直すとともに、引き続き図書館資料の所蔵数を増やし、利用者の学習意欲に応えられる環境づくりを行っていく。また、菅谷まちづくり委員会と連携したイベントを積極的に行い、利用者の拡大を図る。 有識者や利用者等から構成される那珂市図書館協議会において、指定管理者制度導入の方向性等について意見を聴取する。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 図書資料については、毎年約1万点増を目途に整備を継続する。また、利用者増につながるよう、イベントについても諸団体等と協力して積極的に開催していく。指定管理者制度の導入については引き続き検討を行う。	※担当部長が記載
---	----------

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	
---	--

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	
--	--